

これは、わたしがちいさいときに、むらのとしよりからきいたおはなしです。あるところに、ごんというこぎつねがいました。ごんは、ひとりぼっちのこぎつねで、いつももりのなかにいました。あきになると、むらのかわでとれるさかなを、そつとぬすんではあそんでいました。

に
い
み
な
ん
き
ち
「
ご
ん
ぎ
つ
ね
」
よ
り